



SOCIAL PRODUCTS
AWARD 2022

審査員
年度テーマ

「東日本大震災からの復興」につながる
ソーシャルプロダクト

2011年3月の東日本大震災後に発売され、被災地
(岩手・宮城・福島)の社会的課題の解決につながる
商品・サービス



伊藤 房雄

[Profile]

東北大学大学院 農学研究科
教授・博士(農学)



高橋 博之

[Profile]

株式会社ポケットマルシェ代表取締役



玉村 雅敏

[Profile]

慶應義塾大学 総合政策学部 教授、
内閣府地域活性化伝道師



飛田 恵美子

[Profile]

ライター／『復興から自立への「ものづくり」』
著者



矢島 里佳

[Profile]

株式会社和える 代表取締役

石黒シエル撮影



渡邊 智恵子

[Profile]

株式会社アバンティ代表取締役会長



SOCIAL PRODUCTS
AWARD 2022

審査員

自由テーマ

生活者が「持続可能な社会」づくりに 参加できるソーシャルプロダクト

例) エコ(環境配慮)、オーガニック、フェアトレード、
寄付(売上の一部を通じた寄付)、地域の活力向上、
伝統の継承・保存、復興支援など



エバンズ 亜莉沙

[Profile]

エシカルコーディネーター
PrettySimple Studio Co. ディレクター



遠藤 祐子

[Profile]

株式会社メディアジーン 編集部門 執行役員、
MASHING UP編集長、
Lifehacker [日本版] 編集長



高橋 義則

[Profile]

株式会社ユニバーサルデザイン総合研究所
代表取締役社長、
APSP理事



原田 さとみ

[Profile]

エシカル・ベネローブ株式会社 代表取締役、
一般社団法人 日本フェアトレード・フォーラム
代表理事



古谷 由紀子

[Profile]

一般財団法人CSOネットワーク 代表理事、
サステナビリティ消費者会議 代表



増田 明子

[Profile]

専修大学商学部教授



三柴 淳一

[Profile]

国際環境NGO FoE Japan 理事